

2 研究の実際

(8) 検証授業の分析（小学 4 年）

ア 事前実態調査（対象児童：小学 4 年 40 名）

児童の〔共通事項〕の理解と交流活動に関する意識を把握するために、検証授業（全 3 時間）の前（7 月）と、後（10 月）に実態調査（質問紙調査・鑑賞テスト）を実施しました。

(7) 〔共通事項〕の理解と交流活動に対する意識についての質問紙調査

質問紙調査では、交流活動に対する意識について質問を 2 つ（質問 1、質問 2）、児童がどれくらい〔共通事項〕について理解しているかを調査するための質問を 1 つ（質問 3）を行いました。児童には〔共通事項〕のことを分かりやすく伝えるため、『音楽の言葉』という文言を使い、『音楽の言葉』とは、音楽を形づくっているいろいろな音楽のもと」と説明をしました。

質問 1

音楽を聴いて感じたことや思ったことを書くことは好きですか。

①から⑤の中で自分の気持ちに一番近いものを一つえらんで、○をつけてください。

①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえばきらい ④きらい ⑤書いたことがない

質問 2

音楽を聴いて感じたことや思ったことを、友達に話すことは好きですか。

①から⑤の中で自分の気持ちに一番近いものを一つえらんで、○をつけてください。

①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえばきらい ④きらい ⑤話したことがない

質問 3

次の『音楽の言葉』の中で『言葉を知っていてどんなことか説明できるもの』には○、『言葉は知っているが、説明できないもの』には○、『その言葉を知らないというもの』には△を書きましょう。

○を書いたところは、その『音楽の言葉』がどんなことか説明してみましょう。

(イ) 音楽の特徴を捉えて聴き味わったことを文章にする鑑賞テスト

鑑賞テストでは、「おどるこねこ」（アンダソン作曲）の曲の紹介文を書かせました。曲を「はじめ」「なか」「おわり」の 3 つの部分に分けて聴き、それぞれの部分で想像したことや感じ取ったことを、〔共通事項〕の言葉を使って書くように条件を出しました。質問紙調査の時と同様に、児童には、〔共通事項〕のことを『音楽の言葉』という文言を使って説明しました。また、児童には、このテストは評価に関係ないことを伝えるため、「リッスンタイム」という言葉でこの調査を行いました。

リッスンタイム

今から聴く曲の題名は「おどるこねこ」です。この曲の特徴を紹介する文を書きます。

「はじめ」「なか」「おわり」のそれぞれについて、想像したことや感じ取ったことを、次の『音楽の言葉』を 1 つ以上使って□の中に文を書きましょう。

同じ『音楽の言葉』を何回使ってもいいです。

『音楽の言葉』

音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階と調、拍の流れ、フレーズ、反復、問いと答え、変化

事前実態調査の結果、鑑賞テストで〔共通事項〕の用語を正しく使えていた A 児、根拠のない表現をしている B 児、言葉を間違った意味で捉えている C 児の 3 名を抽出児童としました。

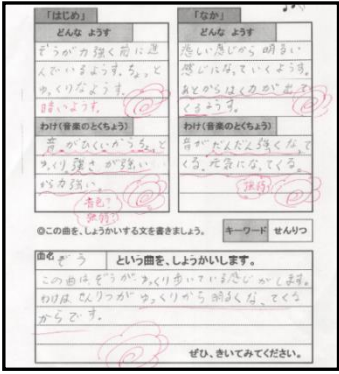
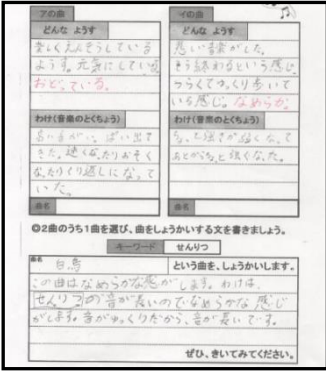
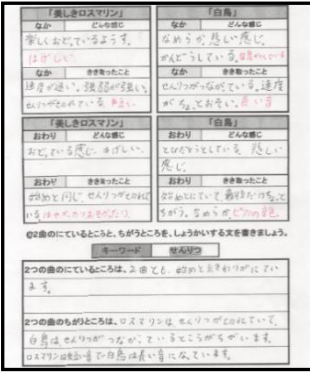
抽出児童（A児・B児・C児）の事前実態調査の結果

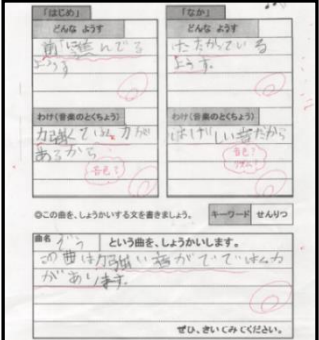
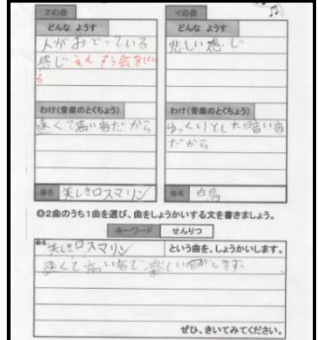
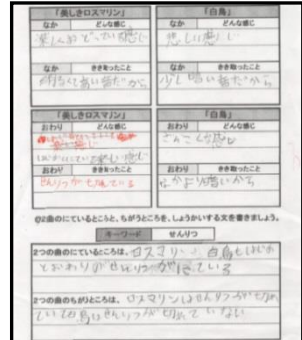
抽出児童（7月の質問紙調査・鑑賞テストより）			
抽出児童	A児	B児	C児
音楽を聴いて感じたことや思ったことを書くことは好きか。	どちらかといえば好き	どちらかといえば好き	嫌い
音楽を聴いて感じたことや思ったことを友達に話すことは好きか。	伝えたことがない	どちらかといえば嫌い	どちらかといえば嫌い
「音楽の言葉」の中で、言葉の意味を正しく説明できた要素の数	5	3	2
鑑賞テスト アンダソン作曲 「おどるこねこ」を「はじめ」「なか」「おわり」の3つの部分に分けて聴き、「音楽の言葉」を使って想像したことや感じ取ったことを書く	<p>「おどるこねこ」という曲を紹介します。</p> <p>「はじめ」は速度がゆっくりです。どんどん速くなっていきます。</p> <p>「なか」は、速度が、どんどん速くなっていき、強弱が「f」になります。ピュピュと、いろいろな音が聞こえます。</p> <p>「おわり」は、おどるこねこよりも速く、はじめて速度が、にやみま最後らへんたいい、犬の音が聞こえます。（ワンという音）</p> <p>ぜひ、書いてみてください。</p>	<p>「おどるこねこ」という曲を紹介します。</p> <p>「はじめ」は、速度の速さを聞いて、おどるこねこは、速く、いろいろな音が聞こえ、強弱が「f」になります。</p> <p>「なか」は、音が聞こえて、速度が速く、ピュピュと、いろいろな音が聞こえます。</p> <p>「おわり」は、音が聞こえて、速度が速く、ピュピュと、いろいろな音が聞こえます。</p> <p>ぜひ、書いてみてください。</p>	<p>「おどるこねこ」という曲を紹介します。</p> <p>「はじめ」は、「f」の音が聞こえて、おどるこねこは、速く、いろいろな音が聞こえます。</p> <p>「なか」は、速度は速い音が聞こえます。</p> <p>「おわり」は、おどるこねこよりも速く、はじめて音が聞こえます。</p> <p>ぜひ、書いてみてください。</p>
	「音色、速度」に着目して聴き取ったことを記述していました。想像したことや感じ取ったことは記述していませんでした。	「速度、強弱、音色」に着目して聴き取ったことを記述していました。「リズムがなめらか」「変化がすごい」など、根拠のない記述をしているところがあり、想像したことや感じ取ったことは記述していませんでした。	「速度」に着目して聴き取ったことを記述していました。「リズムがおそい」「リズムが弾む」など、言葉を間違った意味で捉えて記述しているところがありました。想像したことや感じ取ったことは記述していませんでした。

事前調査を基に、鑑賞学習における〔共通事項〕を支えとした言語活動の充実を通して、関心・意欲・態度と鑑賞の能力がどのように変容したかについて、児童のワークシートや行動の観察、発言の内容などから検証しました。（児童が交流活動で相手の考えを聞いて共感した時に付け足した用語は、赤い字で示しています。）

イ 検証授業（全3時間）での抽出児童の鑑賞の能力と関心・意欲・態度の分析（ワークシートの記述より）

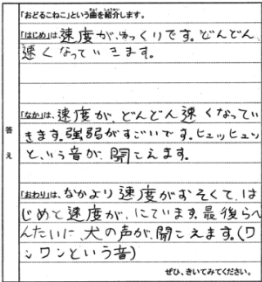
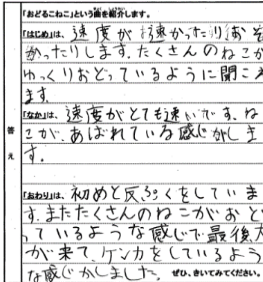
A児の変容		
1時目 「象」	2時目 「美しきロスマリン」「白鳥」	3時目 「美しきロスマリン」「白鳥」
<p>「はじめ」 おどるこねこ ゆっくり おどるこねこ ゆっくり</p> <p>「なか」 おどるこねこ どんどん速くなっていき、強弱が「f」になります。</p> <p>「おわり」 おどるこねこよりも速く、はじめて速度が、にやみま最後らへんたいい、犬の音が聞こえます。（ワンという音）</p> <p>この曲を、しょうかいする文を書きましょう。</p> <p>キーワード センリツ</p> <p>「おどるこねこ」という曲を、しょうかいします。</p> <p>はじめは、なかは、変化もしています。</p> <p>おわりは、はじめとぜんりつが、たまたまは、はじめの所は、楽しく聞いて、いろいろな音が聞こえて、おどるこねこよりも速く、はじめて音が聞こえます。</p> <p>ぜひ、書いてみてください。</p>	<p>「美しきロスマリン」 おどるこねこ ゆっくり おどるこねこ ゆっくり</p> <p>「白鳥」 おどるこねこ ゆっくり おどるこねこ ゆっくり</p> <p>この曲のうち1曲を選び、曲をしょうかいする文を書きましょう。</p> <p>キーワード センリツ</p> <p>「白鳥」という曲を、しょうかいします。</p> <p>おどるこねこよりも速く、はじめて音が聞こえます。</p> <p>ぜひ、書いてみてください。</p>	<p>「美しきロスマリン」 おどるこねこ ゆっくり おどるこねこ ゆっくり</p> <p>「白鳥」 おどるこねこ ゆっくり おどるこねこ ゆっくり</p> <p>この曲のうちの2曲は、ちがうところを、しょうかいする文を書きましょう。</p> <p>キーワード センリツ</p> <p>2つの曲のうちの1曲は、おどるこねこよりも速く、はじめて音が聞こえます。</p> <p>2つの曲のうちの1曲は、おどるこねこよりも速く、はじめて音が聞こえます。</p> <p>ぜひ、書いてみてください。</p>
「はじめ」を聴いて思い浮かんだようす→象が楽しそうに踊っている	アの曲を聴いて思い浮かんだようす→だれかがおどっているよう	「美しきロスマリン」の「なか」を聴いてどんな感じがするか→楽

<p>るようす。のっそり。 わけ→リズムが弾んでいる。ゆっくりのろい。 「なか」を聴いて思い浮かんだようす→象がさみしそうに歩いているようす わけ→速度がさっきよりも遅くて暗い音だった。 曲の紹介文 「はじめ」と「なか」は変化しています。「おわり」は「はじめ」のせんりつとにしています。「はじめ」のところは、楽しく踊っている感じがして、「なか」は落ちこんでいる感じがする。</p>	<p>す。えんそう会をしている。 わけ→音が短くて速かったから。イの曲を聴いて思い浮かんだようす→だれかが寝ている感じ。なめらか。 わけ→音がやさしい感じがした。 曲の紹介文 「白鳥」という曲をしょうかいたします。わけはせんりつがつながっているからです。この曲をきくと、だれかがねている感じがします。</p>	<p>しく歌っている感じ。楽しくおどっている。 わけ→せんりつがつながっている。 「白鳥」の「なか」を聴いてどんな感じがするか→楽しく踊っている感じがした。ゆっくりとびたとうとしている。白鳥がとんでいる。 わけ→速さはゆっくりで、つながっていると思った。せんりつがなめらかで弱い音。 「美しきロスマリン」の「おわり」を聴いてどんな感じがするか→はげしい感じ。 わけ→「はじめ」と同じ感じ（反復）で音が切れている。せんりつが切れている。 「白鳥」の「おわり」を聴いてどんな感じがするか→だれかねている感じ、悲しい感じ。空をとびまわっている感じ。 わけ→「はじめ」とにている（反復）感じで、速度が遅かった。ピアノの音色なめらか。 2曲の相違点 どちらの曲も「はじめ」と「おわり」が反復しているところが似ているところです。2曲のちがうところは、せんりつが「美しきロスマリン」は短いけれど、「白鳥」はつながっている感じがします。</p>
<p>「はじめ」と「なか」を聴いて感じ取ったことと、その根拠を旋律の特徴（リズム・速度）に着目して記述できています。 曲の紹介文には、「はじめ」と「なか」の旋律が変化していること、「おわり」の旋律が「はじめ」の反復になっていることにも触れて書くことができています。</p>	<p>2曲の「はじめ」の部分の聴き比べを通して、2曲の旋律の違い（リズム・速度）に着目して記述できています。友達の発言の中から共感できたことは、赤鉛筆で書き足し、曲から感じ取れることをより深めています。曲の紹介文にも知覚・感受したことを記述できています。</p>	<p>2曲の「なか」「おわり」の旋律の特徴の違いを根拠に感じ取ったことを記述できています。また、友達の発言の中から共感できたことを赤鉛筆で書き足し、それを基に「音色」「リズム」「反復」など音楽を特徴付けている要素を自発的に書き足しています。 2曲の聴き比べを通して、それぞれの曲の相違点についても的を射た記述ができています。</p>
<p>B 児の変容</p>		
<p>1 時目 「象」</p>	<p>2 時目 「美しきロスマリン」「白鳥」</p>	<p>3 時目 「美しきロスマリン」「白鳥」</p>
		
<p>「はじめ」を聴いて思い浮かんだ</p>	<p>アの曲を聴いて思い浮かんだよう</p>	<p>「美しきロスマリン」の「なか」</p>

<p>ようす→象が力強く前に進んでいるようす。ちょっとゆっくりなようす。暗いようす。</p> <p>わけ→音がひくいから。ちょっとゆっくり。強さが強いから力強い。</p> <p>「なか」を聴いて思い浮かんだようす→悲しい感じから明るい感じになっていくようす。あとからは力が出てくるようす。</p> <p>わけ→音がだんだん強くなってくる。元気になってくる。</p> <p>曲の紹介文</p> <p>この曲は、ぞうがゆっくり歩いている感じがします。わけは、せんりつがゆっくりから明るくなっていくからです。</p>	<p>す→楽しくえんそうしているようす。元気にしている。おどっている。</p> <p>わけ→高い音がいっぱい出てきた。速くなったりおそくなったりくり返しになっていた。</p> <p>イの曲を聴いて思い浮かんだようす→悲しい音楽がした。もう終わるという感じ。つらくてゆっくり歩いている感じ。なめらか。</p> <p>わけ→音がやさしい感じがした。</p> <p>曲の紹介文</p> <p>この曲はなめらかな感じがします。わけは、せんりつの音が長いので、なめらかな感じがします。音がゆっくりだから、音が長いです。</p>	<p>を聴いてどんな感じがするか→楽しくおどっているようす。はげしい。</p> <p>わけ→速度が速い。強弱が強い。せんりつが切れている。短い。</p> <p>「白鳥」の「なか」を聴いてどんな感じがするか。→なめらか。悲しい感じ。かんどうしている。白鳥がとんでいる。</p> <p>わけ→せんりつがつながっている。速度がちょっとおそい。長い音。</p> <p>「美しきロスマリン」の「おわり」を聴いてどんな感じがするか。→おどっている感じ。はげしい。</p> <p>わけ→「はじめ」と同じ。せんりつが切れている。はやかったりおそかったり。</p> <p>「白鳥」の「おわり」を聴いてどんな感じがするか。→とびだそうとしている。悲しい感じ。</p> <p>わけ→「はじめ」とにていて、最後だけちょっとちがう。なめらか。ピアノの音色。</p> <p>2曲の相違点</p> <p>どっちの曲も「はじめ」と「おわり」が反復しているところが似ているところです。2曲のちがうところは、せんりつが「美しきロスマリン」は短いけれど、「白鳥」はつながっている感じがします。</p>
<p>「はじめ」と「なか」を聴いて感じ取ったことと、その根拠を旋律の特徴（リズム・速度）に着目して記述できています。</p> <p>曲の紹介文には、「はじめ」と「なか」の旋律が変化していること、「おわり」の旋律が「はじめ」の反復になっていることにも触れて書くことができています。</p>	<p>2曲の「はじめ」の部分の聴き比べを通して、2曲の旋律の違い（リズム・速度）に着目して記述できています。友達の発言の中から共感できたことは、赤鉛筆で書き足し、曲から感じ取れることをより深めています。曲の紹介文にも知覚・感受したことを記述できています。</p>	<p>2曲の「なか」「おわり」の旋律の特徴の違いを根拠に感じ取ったことを記述できています。また、友達の発言の中から共感できたことを赤鉛筆で書き足し、それを基に「音色」「リズム」「反復」など音楽を特徴付けている要素を自発的に書き足しています。</p> <p>2曲の聴き比べを通して、それぞれの曲の相違点についても的を射た記述ができています。</p>
<p>C児の変容</p>		
<p>1 時目 「象」</p>	<p>2 時目 「美しきロスマリン」「白鳥」</p>	<p>3 時目 「美しきロスマリン」「白鳥」</p>
 <p>「はじめ」 どんな ようす 前に進んでいる ゆっくり</p> <p>「なか」 どんな ようす 木々が揺れている ようす</p> <p>わけ(音楽のどこから) 力が強くて、力があふから</p> <p>わけ(音楽のどこから) ほつた音がたか</p> <p>この曲を、しょうかいする文を書きましょう。 キーワード せんりつ</p> <p>曲名 イロ という曲を、しょうかします。 この曲は力強い音がでて、ゆんががあります。</p> <p>ぜひ、さいてみてください。</p>	 <p>アの曲 どんな ようす 人がおどっている 感じ えんそうがたか</p> <p>イの曲 どんな ようす 悲しい感じ</p> <p>わけ(音楽のどこから) 速く、音がたか</p> <p>わけ(音楽のどこから) ゆんが、音がたか</p> <p>この曲のうち1曲を選び、曲をしょうかいする文を書きましょう。 キーワード せんりつ</p> <p>「美しきロスマリン」 この曲は、速く、音がたか</p> <p>「白鳥」 この曲は、ゆんが、音がたか</p> <p>ぜひ、さいてみてください。</p>	 <p>「美しきロスマリン」 どんな ようす なかに、おどっている 感じ えんそうがたか</p> <p>「白鳥」 どんな ようす ゆんが、音がたか</p> <p>わけ(音楽のどこから) 速く、音がたか</p> <p>わけ(音楽のどこから) ゆんが、音がたか</p> <p>この曲のちがうところは、ちがうところを、しょうかいする文を書きましょう。 キーワード せんりつ</p> <p>2つの曲のちがうところは、ロスマリンはせんりつがたか、白鳥はせんりつがゆんが、おどっている感じがたか。</p> <p>2つの曲のちがうところは、ロスマリンはせんりつがたか、白鳥はせんりつがゆんが、おどっている感じがたか。</p> <p>ぜひ、さいてみてください。</p>
<p>「はじめ」を聴いて思い浮かんだようす→前に進んでいるようす。</p>	<p>アの曲を聴いて思い浮かんだようす→人がおどっている感じ。えん</p>	<p>「美しきロスマリン」の「なか」を聴いてどんな感じがするか。→</p>

<p>わけ→力強くてはく力があるから。 「なか」を聴いて思い浮かんだようす→たたかっているようす。 わけ→はげしい音だから。</p> <p>曲の紹介文 この曲は、力強い音がでてはく力があります。</p>	<p>そう会をしている。 わけ→速くて高い音だから。 イの曲を聴いて思い浮かんだようす→ 悲しい感じ。 わけ→ゆっくりとした暗い音だから。</p> <p>曲の紹介文 「白鳥」という曲をしょうかいたします。速くて高い音で楽しい音がします。</p>	<p>楽しくおどっている感じ。 わけ→明るくて高い音だから。 「白鳥」の「なか」を聴いてどんな感じがするか。→悲しい感じ。 わけ→少し暗い音だから。 「美しきロスマリン」の「おわり」を聴いてどんな感じがするか。→「はじめ」にいて楽しい感じ。 わけ→せんりつが切れている。 「白鳥」の「おわり」を聴いてどんな感じがするか。→ざんこくな感じ。 わけ→「なか」より暗いから。 2曲の相違点 2つの曲のにているところは、「ロスマリン」も「白鳥」も「はじめ」と「おわり」のせんりつがにている。 2つの曲のちがうところは、「ロスマリン」はせんりつが切れていて「白鳥」はせんりつが切れていない。</p>
<p>「はじめ」と「なか」を聴いて感じ取ったことと、その根拠を旋律の特徴（リズム・速度）に着目して記述できています。 曲の紹介文には、「はじめ」と「なか」の旋律が変化していること、「おわり」の旋律が「はじめ」の反復になっていることにも触れて書くことができています。</p>	<p>2曲の「はじめ」の部分の聴き比べを通して、2曲の旋律の違い（リズム・速度）に着目して記述できています。友達の発言の中から共感できたことは、赤鉛筆で書き足し、曲から感じ取れることをより深めています。曲の紹介文にも知覚・感受したことを記述できています。</p>	<p>2曲の「なか」「おわり」の旋律の特徴の違いを根拠に感じ取ったことを記述できています。また、友達の発言の中から共感できたことを赤鉛筆で書き足し、それを基に「音色」「リズム」「反復」など音楽を特徴付けている要素を自発的に書き足しています。</p>

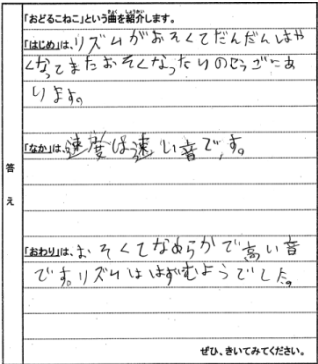
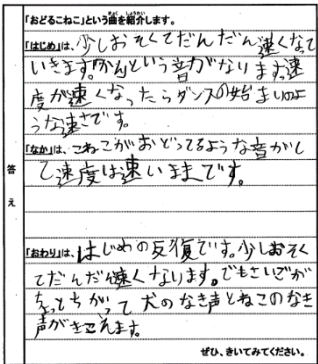
ウ 抽出児童の変容（事前調査と事後調査の比較）

		A児	
		事前	事後
	書くこと	どちらかといえば好き	好き
	話すこと	伝えたことがない	どちらかといえば嫌い
	正しく記述できた「音楽の言葉」の数	5	5
	記述していた「音楽の言葉」	速度、強弱、音の重なり、問いと答え、変化	音色、速度、強弱、反復、変化
鑑賞テスト	感受の記述	無	有
	知覚の記述	有	有
	言葉間違い	無	無
	実際の記述		

変容	事前調査では、聴き取ったことのみでの記述でしたが、事後調査では、「はじめ」「なか」「おわり」のそれぞれで知覚・感受できたことを記述することができていました。聴き取った音楽の要素が、事前では音楽を特徴づけている要素（ 音色、速度 ）でしたが、音楽を特徴付けている要素（ 速度 ）と音楽の仕組み（ 反復 ）にも着目して記述できています。
-----------	---

B児			
	事前	事後	
書くこと	どちらかといえば好き	どちらかといえば好き	
話すこと	どちらかといえば嫌い	どちらかといえば嫌い	
正しく記述できた「音楽の言葉」の数	3	5	
記述していた「音楽の言葉」	速度、強弱、変化	速度、強弱、音階、反復、変化	
鑑賞テスト	感受の記述	無	有
	知覚の記述	有	有
	言葉間違い	有	無
	実際の記述	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おどろこねこ」という曲を紹介します。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「はじめ」は、速度がふよふよとあどけなく、速度が速くなっているように感じました。強弱がゆるやかにあどけなく強くなっています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「なか」は、音が軽くなると速度が速くなる、とても速く感じました。最後に音がなめらかになりました。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おわり」は、音がなめらかで速度がふよふよと、また速く感じました。とてもなめらかな感じがしました。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">リズムがなめらかでした。</div> <div style="text-align: right; font-size: small;">ぜひ、きいてみてください。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おどろこねこ」という曲を紹介します。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「はじめ」は、本音におどっているようで、始めは速度が速く感じました。強弱が強いので、リズムのりながらあどけようです。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「なか」は、速度が速く、音の重なりが重なって、なくて明るいので、始めと変化しています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">強弱も強くなっています。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おわり」は、おどろこねこに戻っています。強弱が弱くなっています。速度も速くなり、おどろこねこになります。最後に、楽しくあどけていたのに、おどろこねこがなめらかな感じがしています。</div> <div style="text-align: right; font-size: small;">ぜひ、きいてみてください。</div>
変容	事前調査では、音楽を特徴づけている要素（ 速度、強弱、音色 ）に着目して聴き取ったことを記述していましたが、「 リズムがなめらか 」「 変化がすごい 」など、間違った言葉の使い方をしていたり、根拠のない記述をしていたところがありました。また、想像したことや感じ取ったことは記述していませんでした。事後調査では、音楽を特徴づけている要素（ 速度、強弱 ）と音楽の仕組み（ 反復 ）に着目して、感じ取ったことを記述できています。		

C児			
	事前	事後	
書くこと	嫌い	嫌い	
話すこと	どちらかといえば嫌い	どちらかといえば好き	
正しく記述できた「音楽の言葉」の数	2	8	
記述していた「音楽の言葉」	強弱、音の重なり	速度、強弱、音の重なり、音階、拍の流れ、フレーズ、反復、変化	
	感受の記述	無	有
	知覚の記述	有	有
	言葉間違い	有	無

鑑賞テスト	実際の記述		
	変容	<p>事前調査では、「速度」に着目して聴き取ったことを記述していました。「リズムがおそい」「リズムがはずむ」など、「リズム」という言葉を正しい意味で捉えられず記述しているところがありました。また、想像したことや感じ取ったことは記述していませんでした。事後調査では、「はじめ」「なか」「おわり」それぞれの場面で知覚・感受したことを記述できています。また、「速度」だけでなく「反復」にも触れ、楽曲の構造にも着目して記述できていました。</p>	

エ 学級全体における鑑賞の能力と関心・意欲・態度の変容

(7) 検証授業（全3時間）における変容

表5は、曲の紹介文を書く活動で、〔共通事項〕のどの用語を使って記述したかを表したものです。授業回数が増えるにつれ、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを関連付けて、音楽を聴き取った児童が増加しました。毎時間「せんりつ」に着目して音楽を聴かせたことと、1時目と3時目に、曲を3つの部分に分け、音楽の仕組みに着目させて聴かせたことで、「せんりつ」「反復」「変化」を関連付けて書くことができたと考えます。

表6は、曲の紹介文を書く活動で不十分な記述をした児童数とその内訳を表したものです。不十分な記述とは、①感受したことのみの記述、②知覚したことのみの記述、③根拠のない記述、④〔共通事項〕の言葉の意味を間違っって認識している記述、⑤誤った知覚をした記述を指しています。授業回数が増えるにつれ、不十分な記述をした児童が減りました。言葉を間違った意味で捉えて使ったり、あいまいな表現をしたりした時、対話を繰り返して音楽のどこに着目して聴き取ったかを確認し、学級全体で共有することを繰り返したことが、この結果につながったと考えます。

(イ) 事前調査・事後調査における変容

次頁図4は、質問1の結果です。「好き」「どちらかといえば好き」の回答が、事前調査より事後

表5 曲の紹介文を書く活動で〔共通事項〕を使って記述できた数

〔共通事項〕		1時目	2時目	3時目
音楽を特徴付けている要素	音色	0	1	0
	リズム	0	0	11
	速度	0	2	4
	せんりつ	21	21	25
	強弱	0	0	6
音楽の仕組み	反復	3	0	26
	変化	2	1	5
知覚感受できた人数		21	24	34
クラスで知覚感受できた人数の割合		53%	60%	85%
知覚できた要素の述べ回数		26	25	77

表6 曲の紹介文を書く活動で、不十分な記述をした児童数とその内訳

記述(人数)	1時目	2時目	3時目
感受のみ	5	4	0
知覚のみ	0	2	0
根拠なし	5	4	6
言葉間違い	9	5	1
知覚間違い	0	0	2
合計	19	15	9

調査が減少しました。今回行った鑑賞の授業では、「感じ取ったことを書く」ことに比べ、「根拠を音楽から聴き取って書く」ことに困難を感じている児童が半数近くいる様子が見受けられました。考えを書き、それを認めてもらう場や、書くことの楽しさや満足感を実感することができるような場を増やしていくことが大切だと感じました。

図 5 は、質問 2 の結果です。「好き」「どちらかといえば好き」の回答が、事前調査より事後調査が減少しました。理由としては、これまでペアやグループで自分の考えを話す機会が少なく、たった 3 回の授業では、話し合う楽しさまで児童に感じさせることができなかったからだと考えます。音楽に限らず、いろいろな教科で自分の考えを友達と伝え合うことを通して、自分の考えがより深まったり友達の考えのよさに気付いたりすることを実感できるようになれば、交流活動への意識も向上するのではないかと考えます。

表 7 は、曲の紹介文を書く時に、「音楽の言葉」を正しく使っている回数を事前調査と事後調査で比較したものです。授業で取り扱った 6 つの「音楽の言葉」のうち「音色」「旋律」「強弱」「反復」「変化」は言葉の意味を正しく理解した上で使うことができました。曲を聴く際、「はじめ」「なか」「おわり」の 3 つの部分に分けて鑑賞したり、どこに着目して聴いたらいいかを提示したりしたことで、「音楽の言葉」を正しい意味で捉えられるようになったからだと考えます。一方、「速度」については事後調査の方が減少しました。理由としては、「旋律」「反復」などに着目して記述した児童が多く、「速度」について着目しなかったからだと考えます。

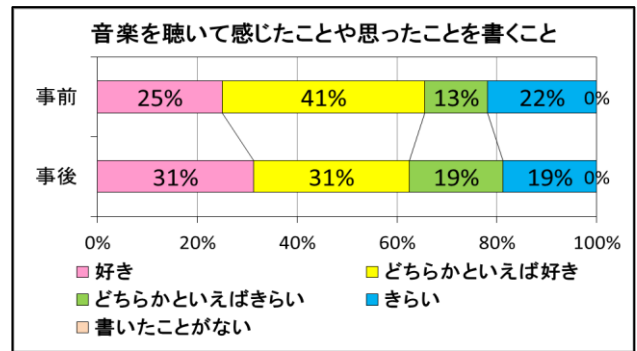


図 4 音楽を聴いて感受したことを書くことに対する意識

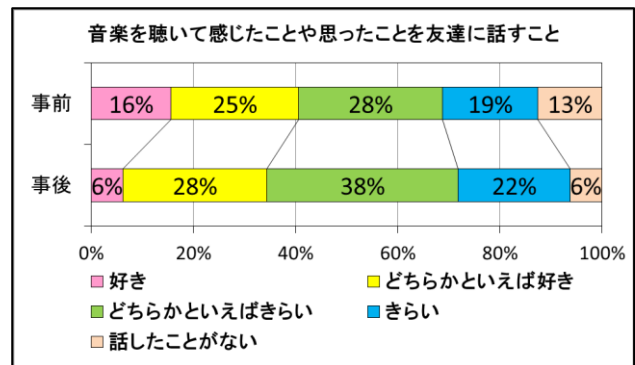


図 5 音楽を聴いて感受したことを話すことに対する意識

表 7 正しく「音楽の言葉」を使っている回数

	事前	事後
音色	24	29
速度	62	42
旋律	1	13
強弱	9	18
反復	3	35
変化	11	16
合計	110	153